

年に数回「聖郷カフェ」

聖郷小は、年に数回「聖郷カフェ」を開催している。地域の学校や児童への理解を深めてもらうことや、参加した方が学校へへの理解を深める



地域のひとと会話を楽しむ児童ら



しめ縄の作り方を教わる児童

みんなで上手にできた

初めてのしめ縄づくり

新年に向けた「しめ縄づくり」が昨年12月18日、聖郷小で行われた。しめ縄づくりは、聖郷小の学校運営協議会が「聖郷の子」を大切にし、地域の子と協力して活動をした。本年度初めて企画。地域ボランティアの方と協力し、6年生の計50人が参加した。地域ボランティアは聖郷小学校の地域の方や児童の親祖父母などから構成され、地域に開かれた学校を

支えるボランティアとして今後も関わり続けてもらうことを目的としている。昨年10月29日のカフェでは、5年生がお茶やお菓子のおもてなしをし、5年生以外の児童たちは、祖父母や地域の方とオセロ、あやとり、将棋、トランプなどで一緒に遊んだ。1年の佐々木蒼翔さんは「地域の方と一緒に遊べて、すごく楽しかった」と話した。また、昨年11月28日のカフェでは、オープニングに4年の信組睦貴さんがピアノ演奏を披露。軽やかな音色が会場を包んだ。信組さんは「ピアノを4カ月前から練習した。難しかったが楽しかった」と述べた。そのカフェでは、6年生が中心になって地域の人たちと話し合った。主に地域の人の小学生の時の話や、卒業に向けてのプロジェクトの話をした。6年生は真剣な表情で自分たちの考えを伝え、地域の人たちはうれしそうに昔話を話していた。2月25日のカフェでは、こがねこども園(琴浦町)の年長児を招待した。園児たちと楽しい交流になった。(山本涼太、米田修人)

地域に開かれた学校

学校概要



【学校名】琴浦町立聖郷小学校
【所在地】東伯郡琴浦町529
【校長名】田中由佳理
【児童数】101人
【教育目標】志を持ち、仲間と共に進む子

【沿革】
2014年4月 東伯小・古布庄小が統合して開校
2023年11月 開校10周年記念行事開催



紅白戦で清掃楽しむ

海岸でごみ袋分拾う

聖郷小の5年生は、国語科で「より良い学校生活のために」という学習を行った。より良い学校生活にするために自分たちができることを考え、昨年11月、地域の



海岸のごみを拾う児童ら

地域ボランティアと一緒に活動

方との関わりを深めて、学校を支えるボランティアを増やし、より地域に開かれた聖郷小にするのが目的だ。児童は赤組と白組に分かれて、どちらが多くごみを拾ったかを勝負し、楽しみながら清掃をした。大きな物から小さな物までごみ袋3袋ほど拾い、よりたさんのごみを拾った白組が勝利した。海岸は見違えるほどきれいになった。この企画を始めに考えた河本弥心都さんは「海岸清掃に取り組んだのは、地域の人の関わりを深め、より良い聖郷小にしたかったから。無事に成功して良かった」と語った。この清掃をきっかけに、聖郷小のボランティアに参加したいという人が増え、海岸清掃は成功で幕を閉じた。(田中愛心、藤本まどか)

熱演に大きな拍手

人権学習で学んだ思いを歌に

学 習 発表会



舞台発表で熱演する児童ら

聖郷小の学習発表会が昨大きな拍手が送られた。年10月18日、体育館で開かれた。合唱や合奏、演劇など、各学年の児童が日頃の練習の成果を発揮して舞台上で学んだ思いをせりふや歌を発表を行い、会場からは大に響き渡った。

劇は、祖母のばあばが認知症になり、孫のつばさを忘れてかけてしまうという物語。6年生は、認知症と向き合いながら懸命にばあばのことを支える家族の姿を熱演した。

「いのちの歌」は、家族や友人、これまでに会った人たちに「命への感謝」と「巡り会えた奇跡」を伝える歌だ。歌詞の思いが伝わるよう、家族の顔を思い浮かべながら感動的に歌い上げ、会場は涙と拍手で包まれた。

劇では、役を演じた有福春樹さんは「最後の学習発表会が成功して良かった。劇も歌も、みんなで協力して作り上げたことができた」と話した。(河本弥心都、西川世葉、山根陽翔)

★ 琴浦Myスター ★

牛乳作りを調べる

町の工場や牧場見学

おいしさの秘密探る



見学した大山乳業で集合写真を撮る3年生

琴浦町の小学校では、本年度から「琴浦Myスター」という取り組みが始まった。地域の一員として、故郷を大切にすることを、町に誇りと愛着を持ち、継承・発展させようという意欲を持つなどの目的がある。聖郷小の3年生は、その一環として、町の代表的な産業である牛乳作りについて調べた。

昨年7月9日に大山乳業農協同組合(同町保)を訪れ、9月18日にはハッピーフィールド福田牧場(同町寛津)に行った。それぞれの工場や施設を見学したり、働いている方に質問したりして、仕事についての工夫や願い、職員の人たちが頑張っていることを見つけ、白バラ牛乳のおいしさの秘密を探った。

3年の川本真央さんは「大山乳業で安心安全な牛乳を飲めるように検査をしていることが分かった」と話した。(小前勇巳、小前福巳、山根千明)

2年生が「町たんけん」したよ!

聖郷小の2年生は、毎年11月の中旬に、生活科の学習で「町たんけん」を行っている。自分たちの町に親しみや愛着を持ち、そこで働いている人々の思いを調べることが目的だ。児童は二つのグループに分かれて、美好郵便局(琴浦町美好)と倉光自動車(同町鉾)に歩いて行った。美好郵便局では、職員の働く様子を見



倉光自動車で整備士の話を聞く児童

地元で働く人の思い聞く

学したり、年賀状や郵便局のマスコットキャラクターを見たりした。倉光自動車では、スタッフもお客さんも、いい環境で過ごしてほしいという思いを持って仕事をしていることを聞いた。どちらでも、児童は真剣に話を聞き、質問したことをメモしていた。当日は雨天だったが、地域ボランティ

アの方々も協力し、子どもたちの安全を見守った。2年担任の津村千尋先生は「子どもたちから『琴浦町の魅力を知って、ここに住んでいて良かった』という声を聞いたので、すごく充実した町たんけんになったと思う」と話した。(熊崎央人、倉光音羽、笹浪真)

5年生が作った新聞です